

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福山市立駅家西小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他（例：小中高一貫）
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒720-1133
広島県福山市駅家町近田205-1
E-mail shou-ekinisi@edu.city.fukuyama.hiroshima.jp
Website http://www.edu.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-ekinishi/
幼児児童生徒数 男子 170名 女子 145名 合計 315名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、全学年でESDを教育課程に位置づけ、ESDカレンダーを作成し、教科・領域等つながりを意識しながら、環境教育、多文化国際理解教育、人権・平和教育を中心に取り組んでいる。

研究主題を「自律と共生をめざし、協働的に学び合う子どもの育成～ESDの視点を取り入れた授業づくりを通して～」として、柴川弘子先生・藤井浩樹先生（岡山大学）、前田一誠先生（IPU環太平洋大学）を講師として招聘してESD実践の指導助言をいただいた。また、各学年でESDに係わる実践を行った。

① 環境教育に係わる活動（1）

4年生を中心に持続可能な地球の未来を願い、全校で牛乳パックの取り組みを行った。事前に4年生は、リサイクル工場の見学、出前授業を受け、全校集会において牛乳パックのリサイクルに取り組む目的や方法等を発表し、協力を呼びかけた。1年間全校児童で回収した牛乳パックの量は510kgであった。（これは木で換算すると10本分の木を助けたことになる。）

② 環境教育に係わる活動（２）

福山市建設局，県，国土交通省の方々と連携し，ＴＦＰ（トラベルフィードバックプログラム）の学習を行った。過度なマイカー利用により発生してしまうＣＯ₂を削減し，「地球温暖化」と「交通渋滞」を解決するために，家庭とも連携を図り実践した。ＥＳＤで求められる行動化を意識した。

③ 多文化国際理解に係わる教育（１）

５年生を中心に，ユニクロと連携し，“届けよう，服のチカラ”プロジェクトに取り組んだ。ユニクロの出前授業では，プロジェクトの目的や難民について教えていただいた。全校児童への呼びかけだけでなく，地域の公民館，保育所，近隣の小学校，中学校へも呼びかけ協力をお願いした。その結果，３２７７枚の子ども服を集め，難民へ届けることができた。

④ 多文化国際理解に係わる教育（２）

６月に２日間にわたり，アフリカからＪＩＣＡ研修員の方が来校された。全校での国際交流会をしたり，授業参観，給食を一緒に食べたりした。また，校内の授業研究・事後協議会も本校の職員と共に行い，学びを深めた。

⑤ 人権・平和教育に係わる学習

戦争の悲惨さを知り，これからの未来が平和な世界であることを子ども達一人一人が感じ取ることができるように，４年生を中心に平和学習を行った。広島原爆投下に係る学習を中心に，実際に広島市の平和公園，原爆資料館への見学も行った。また，自分達で調べ学習を行い，全校児童，保護者，地域の方へ向けて「平和」をテーマに発表を行った。

⑥ 職員研修

| 期日 | 研修内容 | 学年・教科 | 講師 | 期日 | 研修内容 | 学年・教科 | 講師 |
|------|------|--------|------|-------|------|--------|------|
| 4/ 2 | 理論研修 | | | 9/21 | 理論研修 | ESD | 柴川先生 |
| 5/12 | 研究授業 | 6 算数 | 指導主事 | 10/ 5 | 研究授業 | 3 外国語 | 指導主事 |
| 6/15 | 研究授業 | 5 外国語 | 柴川先生 | 10/12 | 研究授業 | 3 算数 | 指導主事 |
| 6/29 | 研究授業 | 4 算数 | 前田先生 | 10/24 | 研究授業 | 2 算数 | 指導主事 |
| 6/30 | JICA | | 前田先生 | 11/ 1 | 研究授業 | 1・2 算数 | 前田先生 |
| 7/ 6 | 理論研修 | 特別支援教育 | 指導主事 | 11/16 | 研究授業 | 2 算数 | 指導主事 |
| 7/31 | 理論研修 | ESD | 柴川先生 | 2/ 1 | 研究授業 | 1 外国語 | 柴川先生 |
| 8/ 8 | 理論研修 | ESD | 藤井先生 | 2/ 8 | 研究授業 | 4 算数 | 前田先生 |

①の写真（牛乳パックリサイクル）



②の写真（ＴＦＰ）



③の写真（服のチカラプロジェクト）



④（JICA交流会）



⑤の写真（平和学習）



⑥の写真（校内研修）



（２）活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

| | | | |
|--|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

| | |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間（複数選択可）

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述） | |

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

| |
|--|
| |
|--|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESDを推進するにあたり文部科学省の「生きる力」＝ESDと捉えた。「ESDで付けたい力」として、国立教育政策研究所教育課程研究センターより出されている「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」の7項目に対応するものを「未来力」「考え力」「つながり力」とした。ESDを取り入れるにあたっては、「環境教育」「国際理解・多文化理解教育」「人権・平和教育」の3つの領域に集約し、「ESD関連カレンダーを」活用した各教科・領域等の活動や内容を結びつけながら学習を進めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESDに係わる校内研修を計画的に仕組み、大学の先生を招致して理論研修を行うなど教職員で意識統一をしてESD活動を進めている。また、学期末ごとにESD関連カレンダーの修正を各学年ごとに行い、子ども達にも見える化するために、教室内に掲示をした。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・学校評価の中にESDに係わる評価項目を作り、1年間の取り組み状況をまとめた。それを外部評価者にも評価してもらった。
- ・「ESDで付けたい力」について、指導案の単元計画と本時の展開の評価規準の中に加え、指導者が意識して授業を行った。また、指導前と指導後に「ESDで付けたい力」に関わって児童にどのような変容が見られたか、授業研後のレポートでまとめた。さらに、授業研の授業観察の際には、授業観察者が「ESDで付けたい力」に関わっての気付きを見取り、授業研後の事後研修で話し合う視点の1つに入れ、検証を重ねた。
- ・ESDに係わる実績は、なかなかすぐに成果として目に見えて表れるものではないので、短期的評価と長期的評価の両面から評価していくことが今後の課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

- ・学校ホームページを通して、ESDに係わる活動や研修等について報告・発信をした。
- ・市内における先進校として、ESDの校内研修等に他校の先生も来校され、一緒に研修を行い、学びを深めた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

- ・JICA研修員の受け入れを通して、国際交流を行った。
- ・岡山大学大学院教育学研究科ESD協働推進室の柴川弘子先生を講師として学校に招致し、他団体との協働・交流・ネットワークの形成を今後展開していくことも視野に入れた研修をしていただいた。
- ・広島県教育委員会、福山市教育委員会と連携を図り、授業実践や校内研修の指導助言をいただいた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（２００字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

将来的な交流のためのネットワーク構築に向けて、岡山大学大学院教育学研究科ＥＳＤ協働推進室の柴川弘子先生に指導・助言をいただいている。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（２００字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

- ・ 児童アンケートの結果からも、友達と協働的学び合う姿勢が育ってきていることが分かる。今後も意欲を継続させていく。
- ・ 関連図を教室に掲示し、授業において活用することで、児童に学習の見通しやつながりを意識させることができた。それにより、これまで学習したことを根拠として、課題解決させることができたり、多面的に考えたりすることができた。
- ・ 指導案の中にＥＳＤの視点を生かした「持続可能な社会づくりの構成概念」「重視する能力・態度」「つながり」の３点が明確となるＥＳＤ学習指導案の作成を行ったことで、指導者がＥＳＤの視点を意識した授業作りを行うことができた。
- ・ 各学年での活動を通して、児童自身が未来をみつめ、持続可能な社会を願う心情を育むことができた。

（３）平成 30 年度の活動計画（２００～４００字程度）

平成 29 年度と同様に、全学年でＥＳＤを教育課程に位置づけ、ＥＳＤ関連カレンダーを作成し、教科・領域等つながりを意識しながら、環境教育、多文化国際理解教育、人権・平和教育を中心に取り組んでいく。また、教育研究においても、ＥＳＤの視点を取り入れた授業作りを柱に深化させていく。中でも、来年度は、「駅西型ＥＳＤ外国語活動」や協働的・対話的なつながりを重視した学び合いの充実を図っていく。